

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2004-766(P2004-766A)

【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2003-313516(P2003-313516)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示状態が変化可能な可変表示装置を備え、前記可変表示装置に表示される識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定の表示態様となったときに所定の遊技価値が付与可能となる遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

遊技機に設けられた所定の種類の電気部品を制御するための電気部品制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、複数のコマンドデータからなるコマンドにおける各コマンドデータとコマンドデータの取込を指令する取込信号とを順次前記電気部品制御手段に出力することによって電気部品を制御するための制御内容を前記電気部品制御手段に出力するコマンド出力手段を含み、

前記コマンド出力手段は、識別情報の変動を開始するときに変動時間を特定可能なコマンドを出力し、前記変動時間が終了したときに識別情報の変動の停止を示すコマンドを出力し、

前記電気部品制御手段は、

前記取込信号に応じて割込を発生し、その割込の発生に応じて実行される割込処理によってコマンドデータを取り込む取込手段と、

前記取込手段が取り込んだ複数のコマンドデータが、前記コマンド出力手段が出力した順に取り込まれていたときにコマンドを正しく受信したと判定する判定手段と、

前記判定手段が正しく受信したと判定したコマンドに従って電気部品を制御するための電気部品制御処理を実行する制御手段と、

前記コマンド出力手段が出力したコマンドにもとづいて、識別情報の表示結果が前記特定の表示態様となることを予告する予告演出の演出内容をあらかじめ用意されている複数種類の演出内容の中から決定する予告演出決定手段とを含み、

前記電気部品制御処理は定期的に発生する割込に応じて実行され、

前記割込処理は前記電気部品制御処理よりも優先して実行されることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

コマンド出力手段は、2つのコマンドデータで構成されるコマンドの1つ目のコマンドデータにおける特定箇所と2つ目のコマンドデータにおける該特定箇所とを異ならせて出力する

請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

複数のコマンドデータのうちの一のコマンドデータは制御の種類を特定するデータであり、他のコマンドデータは制御内容の詳細を特定するデータである

請求項1または請求項2記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明による遊技機は、表示状態が変化可能な可変表示装置を備え、可変表示装置に表示される識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定の表示態様となったときに所定の遊技価値が付与可能となる遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えばCPU56等）と、遊技機に設けられた所定の種類の電気部品（例えば、可変表示装置9、ランプ・LED、スピーカ27、球払出装置97）を制御するための電気部品制御手段（例えば表示制御手段、ランプ制御手段、音声制御手段、払出制御手段）とを備え、遊技制御手段が、複数のコマンドデータからなるコマンドにおける各コマンドデータ（例えばMODEデータとEXTデータ）とコマンドデータの取込を指令する取込信号（例えばINT信号）とを順次電気部品制御手段に出力することによって電気部品を制御するための制御内容を電気部品制御手段に出力するコマンド出力手段（例えば遊技制御手段のうちコマンド制御処理を実行する部分、図28参照）を含み、コマンド出力手段は、識別情報の変動を開始するときに変動時間を特定可能なコマンドを出力し、変動時間が終了したときに識別情報の変動の停止を示すコマンドを出力し、電気部品制御手段が、取込信号に応じて割込を発生し、その割込の発生に応じて実行される割込処理（例えばコマンド受信割込処理、図48参照）によってコマンドデータを取り込む取込手段（例えば表示制御手段のうちステップS851を実行する部分）と、取込手段が取り込んだ複数のコマンドデータが、コマンド出力手段が出力した順に取り込まれていたときにコマンドを正しく受信したと判定する判定手段（例えば表示制御手段のうちステップS852、S854を実行する部分）と、判定手段が正しく受信したと判定したコマンド（例えばステップS852、S854の判定の結果、ステップS853、S855で格納されたコマンドデータ）に従って電気部品を制御するための電気部品制御処理を実行する制御手段（例えば表示制御手段のうち表示制御プロセス処理におけるステップS723以降の処理を実行する部分）と、コマンド出力手段が出力したコマンドにもとづいて、識別情報の表示結果が特定の表示態様となることを予告する予告演出の演出内容をあらかじめ用意されている複数種類の演出内容の中から決定する予告演出決定手段とを含み、電気部品制御処理は定期的に発生する割込に応じて実行され（図46、図47参照）、割込処理は電気部品制御処理よりも優先して実行される（例えば電気部品制御処理としての表示制御プロセス処理が非割込処理で実行されるので割込発生により表示制御プロセス処理を中断して割込処理が実行される、図46、図47参照）ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

コマンド出力手段は、例えば、2つのコマンドデータで構成されるコマンドの1つ目の

コマンドデータにおける特定箇所（例えば先頭ビット）と2つ目のコマンドデータにおける該特定箇所とを異なさせて出力する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

複数のコマンドデータのうちの一のコマンドデータは、例えば制御の種類を特定するデータ（例えばMODEデータ）であり、他のコマンドデータは制御内容の詳細を特定するデータ（例えばEXTデータ）である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項1に記載された発明では、電気部品制御手段が、取込信号に応じて割込を発生し、その割込の発生に応じて実行される割込処理によってコマンドデータを取り込む取込手段と、取込手段が取り込んだ複数のコマンドデータが、出力手段が出力した順に取り込まれていたときにコマンドを正しく受信したと判定する判定手段と、判定手段が正しく受信したと判定したコマンドに従って電気部品を制御するための電気部品制御処理を実行する制御手段とを含み、電気部品制御処理は定期的に発生する割込に応じて実行され、割込処理は電気部品制御処理よりも優先して実行されるように構成されているので、電気部品制御手段の側で複数のコマンドデータが正常に取り込まれないと制御を開始しないようにすることことができ、コマンドにもとづく適正な制御を行うことができる効果がある。すなわち、基板間で一方のコマンドデータにエラーが生じても、電気部品制御手段において、容易にそのことを検出でき、誤ったコマンドコマンドにもとづいて電気部品制御がなされてしまうことがより確実に防止される。また、例えば取込信号が入力ポートに入力される場合には電気部品制御手段は極めて短い周期で入力ポート監視を行う必要があるが、上記のように構成すれば、そのような監視を行う必要はなく、電気部品制御手段におけるコマンド取込に要する負担が軽減される効果がある。さらに、遊技制御手段からコマンドデータが送出された場合に常に直ちにコマンドデータ取込処理を開始することができ、電気部品制御手段は、コマンドデータを取りこぼすことなく確実に取込処理を実行することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項2に記載された発明では、コマンド出力手段が、2つのコマンドデータで構成されるコマンドの1つ目のコマンドデータにおける特定箇所と2つ目のコマンドデータにおける該特定箇所とを異なさせて出力するように構成されているので、1つ目のコマンドデータを受信したのか2つ目のコマンドデータを受信したのかを、受信側において直ちに検

出できる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項3に記載された発明では、複数のコマンドデータのうちの一のコマンドデータが制御の種類を特定するデータであり、他のコマンドデータが制御内容の詳細を特定するデータであるから、電気部品制御手段の側でコマンドデータの識別が容易になり、また、コマンド体系の変更等に柔軟に対応することもできる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】